ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA		vol.
2017	Summer	10

翡翠　と書くその姿に私たちは心奪われる

より強くなる太陽の光　　遠い雷のざわめき
むせかえる草のにほい　　青い葉のゆらぎ
キラキラとゆれる水面　　子どもたちの歓喜の声

これほどに季節が足並みをそろえても
美しい容姿は輪郭を消し
私たちをどこかで笑って観ているはずだ

夏だよ
夏だよ
どうかその姿を見せて

私たちはカメラをのぞき込みながら
小さく気高く佇むあなたに　　息をとめる

まちにわ師活動日誌＃5　「まちの風景を記録し、伝えるメディア担当」　佐藤 正美

AERU をご覧の皆さん、初めまして。私は、まちにわ師３期生の佐藤 正美と申します。

私は、１９５７年（昭和３２年）に中野区で生まれ、９月には３回目の成人式を迎えます。１９９０年（平成２年）にひばりが丘団地に引越して、２００２年に隣の南沢に引越し現在に至ります。

趣味は物作りとか、機械いじりが好きでした。中学生の時は飛行機プラモデルにはまり、高校生の時、鉄道模型を始めました。模型を作るための、資料集めの為、写真を撮るようになり、いつもカメラを持ち歩いていて、「いいな！」と思ったもの、気になったものにもレンズを向けています。

まちにわ師には、green drinks、green bird、まちにわリビング、メディア、コミュニティビジネス、の各チームがあり、私はメディアチームに入りました。まちにわ師メディア担当として、最初の活動は東久留米市で唯一のかやぶき屋根を持つ、国の登録有形文化財である「村野家住宅」を見学する、「顧想園をたずねて」というイベントにカメラマンとして同行しました。生憎の雨でしたが、室内も見学でき、建物の佇まいや室内の建具の細工の細かさ、さらに大正時代に作られたガラスは、平面性の悪さからガラス越しに見た景色がゆがんで見えると驚きと感動の連続でした。当日ご参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

これから、まちにわ師メディア担当として活動していきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

イベントプレイバック

これまでの まちにわ ひばりが丘 主催イベント

参加者合計 のべ **3,105** 名

鯉のぼりが気持ちよく泳いだ 5 月は有形文化財の顧想園へのツアーを実施。歴史ある建物を中から見ることができ、参加者のみなさんも感心していた様子でした。初の試みだった BAR,118 の「シェア･マンガ･ナイト」では各自思い入れのある一冊を紹介しながら、話に花が咲きました。6 月にはご近所の畑でのじゃがいも掘り。暑い中でしたが、子どもたちも広々とした畑で土に触れられることを楽しんでいたようです。

「街に和」の重要性

近くで暮らす人がどんな人かを知っていると、
困ったときに助け合えて、毎日がもっと楽しくなる。

1 暮らしを楽しくする

小さなお子さんのいるご家庭や、ご年配の方の中には、遠くまで出かけるのは大変…と感じている方も多いはず。すぐに歩いていける距離に友人が増えると、何気ない日常に笑顔が飛び交います。

2 課題を解決できる

悩んだとき身近に相談できる人がいて、また周囲からも見守る視点があること。そんな人と人とのつながりがあることで、災害、犯罪、孤独な子育て、人の無縁化など多くの社会問題の解決につながります。

3 建物・施設管理の質を高められる

マンション管理の現場にて、議論がしづらいという声をよく聞きます。それはマンション内に良好な人間関係が築けていないから。あるイベントで顔を合わせたり、日頃から挨拶を交わしたりする仲ならば、より建設的で活発な議論がしやすくなり、スムーズな合意形成につながります。

MACHINI-WA HIBARIGAOKA

発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
編集長：高村和明
制　作：岩穴口康次、渡邊篤子、
　　浅見美沙（以上まちにわ師）
表　紙：平田武（写真、まちにわ師）
　　岩穴口亜希（詩、まちにわ師）
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
ＷＥＢ：http://machiniwa-hibari.org
発行日：2017 年 7 月 5 日

メールマガジン無料配信中！ご登録はこちらから

月 2 回「まちにわ ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左のQRコードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」として info@machiniwa-hibari.org までご連絡ください。

詳しくはお問い合わせください

ひばりが丘の街で人を訪ねる

ÁERU PEOPLE

「大人同士の関わりも深めていきたい！」

児童館の施設長2人に聞いた、ひばりが丘地域で目指す子育て支援の姿

今回は、ひばりが丘地域の子育て支援施設である児童館、「西東京市立ひばりが丘児童センター」および「東久留米市立子どもセンターひばり」の両施設長のお二人に児童館の取り組みなどをお聞きしました。

ひばりが丘児童センター

スポーツを通じた健全育成が目的の特化型児童館

佐藤さん（以下佐藤） 西東京市には児童館・児童センターが16あり、約6割が小型施設です。ひばりが丘児童センターは数の少ない大型施設で、0才～高校生までが利用できます。年間利用者は述べ10万人で、その内訳は幼児が2割、児童が6割、中高生が2割です。当館の特徴として、スポーツ施設が充実していて、スポーツを通じた健全育成が一つの役割です。また、乳幼児に対しては子育ての相談先としての役割もあります。そのため、職員同士の横のつながりに加え専門職の人達ともつながり、専門機関へつなぐ役割も担っています。その他、昔遊びなど、子どもも高齢者も一緒に楽しめることも大切にしているので、職員も一芸に秀でている人が多く、その芸を軸に来館者と繋がっています。

地域の人と作り出す様々な企画

佐藤 イベントは、地域資源である地域の皆さんと一緒にできるようにしています。地域の大人同士のつながりは多く、「センターまつり」の実行委員会への地域の大人の参加、中原小学校の「おやじの会」の様々な形での活動協力、そしてひばりが丘団地自治会主催の桜まつりや夏まつりなどへの参加などもしています。また、地域との情報共有の場として、「子ども食堂」や「放課後カフェ」なども行っています。そのような地域の方々に参加・協力してもらう中で、なるべく色々な年代、そして地域の人を混ぜ、その中での自主性に任せています。

ひばりが丘児童センター
佐藤文俊センター長

ひばりが丘の皆が参加できる街のスポーツ大会をやってみたい

佐藤 まちにわひばりが丘とは、全ての世代と一緒にできることを通じて一緒に街を作っていきたいと思っています。当館には、体育館でできる「フロアーカーリング」や、高齢者でも扱える軽いボウリングセットなど様々なスポーツ設備もあり、近隣にはテニスコートや野球場などもあります。例えば、ひばりが丘地域住民参加型の地域全体でのスポーツ大会なども行ってみたいです。

地域の施設として、使い倒して欲しい

佐藤 今後も、地域の大人の方に関わって欲しいと思っています。そして、地域住民の施設なので、「ひばりが丘児童センター」を、使い倒して欲しい。いつでも相談下さい!!夏のイベントも色々考えていますので、ぜひ、夏休みも遊びに来て下さい。

詳しくは、ホームページを御覧ください
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/kosodate/kids/event/hibarigaoka.html

子どもセンターひばり

0才から高校生までが安心して利用できる児童館

堀内さん（以下堀内） 東久留米市内には、児童館が4館あり、子どもセンターひばりは、その中で唯一、0才～高校生までが利用できる施設として21時まで開館しています。当館の役割としては、乳児に対しては子育て相談などから、学童以降は、はじめは大人・職員と遊ぶ・遊んでもらうという関係から、遊びに来ている子ども同士の関係へと発展の支援などが挙げられ、職員は若手からベテランまで幅広く対応できるようにしています。また、福祉的な役割も担っており、児童館間で情報共有し、地域全体での子どもたちの見守りもしています。そのため、子どもセンターなら安心という声もいただいています。

子どもセンターひばり
堀内 泉 館長

地域に知っている大人がいる安心

堀内 隣にある東久留米市立ひばり保育園と協力し、ひばり保育園園児と地域の子どもたちが一緒に体操をする機会を作り出しています。また、東久留米市立第五小学校のお父さん会は、夏の祭りの焼きそばや、餅つきの時など連携して行っており、その大人同士のつながりが広がり、子どもたちにとっても地域に知っている大人がいる安心・安全につながるようになっています。その点では、まちにわひばりが丘など、地域の他の施設とのつながりも、街の中に大人の目が増え、顔見知りが増えることにより子どものコミュニティーが拡がります。そのことが結果として、この街に住んでいれば安心安全だという考えにつながると思います。その他、高校生のボランティア参加も多く、中学生の目が高校に向く一つのきっかけにもなっています。

地域の子育て手法の良いところを取り入れ、子どもの笑顔を増やす

堀内 様々な活動を行っていく上で、子どもたちが笑顔になるということが、第一歩！になると思うので、児童館として、その支援をしていければいいですね。人として、子どもとともに手を取って育っていこうと考えています。そのために、これから

より大人同士の関わりを深め、地域の子育て手法の良いところを取り入れていきたいと考えています。

●7月24日(土)「ひばり食堂」食を作る経験などを通じた「食育」支援

詳しくは、ホームページを御覧ください。
http://www.city.higashikurume.lg.jp/eventinfo/jidoukan/1006515.html

ひばりが丘地域では、ひばりが丘団地ができた当時から地域で子どもを育て合うという歴史があります。今回のそういった、これまで築かれてきた子育て文化を継承しながら、今回インタビューさせていただいた各児童館や「まちにわ ひばりが丘」などの地域施設、団体、そして住民の方など、多くの大人が協力し合いながら、子どもたちも大人も安心・安全に暮らしを楽しめるひばりが丘という街になっていければいいなと感じました。

ÁERU ライター
岩穴口康次 *Iwanaguchi Koji*
まちにわ師1期生。おもちゃコンサルタント、おもちゃインストラクター。東久留米市南沢在住。NPOに勤務しながら、まちにわ師としても活動中。

INFORMATION

困ったときに助け合えて毎日がもっと楽しくなる街に

ひばりテラス 118　使い道いろいろ☆野外スペースの活用例

ひばりテラス118には大小6つのコミュニティスペースが有りますが、屋外にもご利用頂けるスペースが有ります。どんなご利用の仕方をされたのかご紹介します。

「草の広場」

にわヨガ

土の匂いや、草の匂いを空気と共に胸いっぱい吸い込んでの屋外でのヨガ。
リラックス効果抜群！

「草の広場」

あおぞらおはなし会

ひばりが丘図書館の活動「おはなし会」を草の広場で開催。
青空のもと手遊びや絵本の読み聞かせが行なわれました。いつもとちがう開放的な雰囲気の中で感性豊かな時間を過ごしました。

「駐車場」

ジーンズ移動販売

「EVERY DENIM」という学生起業家の兄弟が岡山の職人さんと造り上げたデニムのパンツが西東京、東久留米に初上陸。キャンピングカーでの移動販売が行なわれました。

ひばりが丘フィールズけやき通り交流会

参加者（黒崎さん）の感想

マンション交流会当日は朝から日差しが強く暑くなりすぎるか心配でした。でもテラスにあるテントを借りて広げると日差しを防ぐ事ができ、テラスを吹き抜ける風がとても気持ちよかったです。３０人くらいでもスペース的には充分でした。これからの季節外でのバーベキューやティーパーティー等様々な利用ができると思いました。

この他にも「屋外映画上映会」「特設プール」等も行なわれました。これからの季節 BBQ も良いですね！芝生の「草の広場」で裸足になって思いっきり開放感を味わってみるのはいかがでしょうか！

＊ご利用には予約が必要です。（1～2ヶ月前より）
＊草の広場：HIBARI 区分 1000 円 /1h
TANPOPO,SAKURA 区分 700 円 /1h

まちにわからのお知らせ

ひばりが丘団地夏祭り

2017 年
7/15(土),16(日)
17：30～21：00
ひばりが丘団地内
「たんぽぽ広場」

日中は気温が上がり夏の予感がしてきました。夏休みの予定にワクワクする頃ですね。
夏休みの直前の 7 月 15 日～16 日に、ひばりが丘団地の夏祭りが開催されます。ひばりが丘団地の歴史と共に会を重ねてきたお祭りです。たんぽぽ広場には櫓が組まれ、屋台が並び、大勢の方が夕涼みがてら参加されます。
辺りが暗くなる頃より、櫓を囲んで盆踊りが催されます。
そして、クライマックスは福引き抽選会。櫓の周りであちこちで歓声が上がります。まちにわひばりが丘は今年も楽しく参加したいと計画中です。乞う！ご期待！

お祭りのお手伝い募集中!!
楽しいイベントを通じて交流も深まります。
どうぞ奮ってご応募下さい！

お問い合わせは以下のご連絡先まで。
Tel：042-452-5758
Mail：info@machiniwa-hibari.org

ひばりが丘の暮らし

緑豊かで開放的！シティテラスひばりが丘に行ってきました！

ひばりが丘団地エリアに新たに建てられた住友不動産の分譲マンション、シティテラスひばりが丘。今年に入り、お引っ越しされてきた方々とお会いする機会が増えてきました。今回は外から見たシティテラスひばりが丘の魅力について、取材してきました！

敷地の 74% が空地。その大きな空間を利用して緑豊かな物件になっています。敷地内には 2200 本の木が植えられており、西側エリア（さくら通り）には桜の木も。春には、昔のさくら通りを思い出した方もいらっしゃるのではないでしょうか？
実は敷地内の木には、キジバトが巣を作っているらしく、見せていただきました！さすが、自然豊かな環境だけありますね。
フォレストパークと呼ばれる公園型空地には東屋も設置。お散歩の休憩には最適ですね！遊具の周りはクッション性のある地面になっているので、子どもたちものびのびと遊べそうです。
販売担当の方からは、「実際に建物もご覧いただけますので、お気軽にお越しください！」とのこと。これから時と共に緑も育ち、まちに調和していくシティテラスひばりが丘が楽しみですね！